

小学生が熟議に初参加（須恵小学校）

須恵小学校では、児童が学校運営協議会の熟議に参加するのは初めてで、地域の方と仲良くなりたい、地域の方に感謝の気持ちを伝えたいなどの思いを形に表すため、「夏祭りを盛り上げる」「もちつきをする」ことを提案しました。委員の皆さんは子どもたちの話を笑顔で聞いて、実現するための方法や注意することなどを親身に助言していました。そして、子どもたちと一緒にやろうというムードが高まり、今後準備や計画を進めていくことになりました。子どもたちのやる気が、連携協働活動のエネルギーになる好事例です。



地域参観日「道徳授業」（厚狭中学校）

厚狭中学校で今年度5回目の地域参観日が開催されました。2名の民生委員さんが3年生と一緒に道徳の授業に参加され、自律的な生き方について考えることをテーマに、資料を基にして自ら考え行動することのよさを話し合いました。生徒はすぐに打ち解けて話しかけたり答えたりしていました。「人に言われてからするより気持ちがいい」「達成感がある」「成長できたという気持ちが強くなる」「自分の行動に納得できる」などの発言が聞かれました。生徒にとっては、今後の行動のあり方を考える学習になったようでした。



ふれあいあいさつ運動（高泊小学校）

高千帆中学校区の4小・中学校でふれあいあいさつ運動が実施されました。高泊小学校では、高泊小学校を卒業した高千帆中学校生徒と教員、泊っ子まもり隊の方々が、昇降口付近に立って小学生を迎えました。登校班のリーダーを先頭に1列に並んで歩く子どもたちは、寒くてもポケットに手を入れることなく、どの子も背筋を伸ばして元気よく「おはようございます」とあいさつをしていました。中学生に手を振ったり、懐かしく話しかけたりする子もいました。泊っ子まもり隊の方は、毎日通学路で見守ってくださっています。

